



乳歯も大切!!

歯科医師 松本 剛



今回は、乳歯についてのお話をします。

昔に比べると虫歯になっている子供の数は減少してきているという結果があります。確かにむし歯がない子供はたくさんいますが、同様に虫歯になりやすい部位・場所が虫歯になってしまっている子供も多く見かけます。

虫歯菌ってどこからやってくるのでしょうか。

人は、生まれた時は誰もが口の中に虫歯菌を持っていません。しかし生活していく中で人（親）から感染してしまうのです。

どのようにしてうつるのかというと・・・

① 噛み与え

硬い食べ物など、親がやわらかく噛みくだいてから与える

② 食器類の共有

スプーンなど口の中に入れるものを一緒に使って食事をする

③ 過度のスキンシップ

かわいい赤ちゃんと接しているとついチュウツと口にキスをしたくなってしまうのですが、これも注意です。

このように、多くの感染経路が考えられます。

では次に、乳歯の虫歯の特徴は・・・

① 虫歯になりやすい

② 虫歯の進行が早い

③ 歯の神経をとらなければならない確率が高い

などがあります。また、虫歯になると、歯列が悪くなる、噛みにくくなる、発音しにくくなるなど、他にも多くの影響を及ぼします。

よく「どうせ生え変わるのだから乳歯はどうでもいい」と考える方がいますが、それは違います。乳歯のうちに正しい歯磨きをする習慣をつけて、口の中の環境を整えておきましょう。

私も1歳6ヶ月の娘がいますが、歯磨きが大嫌いで、口の中に歯ブラシを入れたがりません。

しかし、将来子供がきれいな歯で過ごせるために、毎日試行錯誤を重ねて磨いています。

保護者のみなさま方、子供の将来のために、
ともに頑張りましょう!!



6月号

第142号 2011年6月1日
発行 / 医療生協さいたま

生協歯科

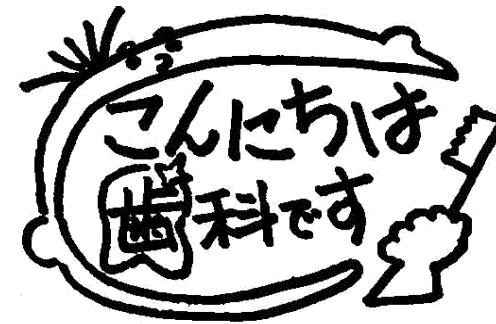
〒336-0926 さいたま市緑区東浦和 6-16-1

(外来予約受付) TEL: 048-810-6100

(2階事務室) TEL: 048-810-6101 Fax: 048-810-6103

Eメール sika-j@mcp-saitama.or.jp

ホームページ <http://seikyo-shika.com/>



毎年6月4日～6月10日は 歯の衛生週間

6月4日むし歯予防デーから始まる
1週間は『歯の衛生週間』です。

いまでは全身の健康に大きな影響を
与えるとされている口の健康。

その健康を保つためには、ご自身で
毎日おこなう歯みがきなどのセルフケア
と、歯科医院での定期的な受診・定期健診
がとても大切です。



今回の『歯の衛生週間』
を機会に、口の健康について
今一度見つめなおして
みましょう♪

★★★歯の衛生週間★★★

「歯の衛生に関する正しい知識を国民に対して
普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する
適切な習慣の定着をはかり、あわせてその早期
治療などを徹底することにより、歯寿命を
のばし、健康の保持推進に寄与することを目
的とする」として、日本歯科医師会・厚生
労働省・文部科学省が中央主催団体と
なって毎年 開催されて
いるもの
です。

2011(平成23)年度 歯科健診が始まりました!!

5月25日(水)に生協歯科待合室で健診スタート集会をおこないました。
さいたま市の特定健診・がん検診のからだの健康診断同様、一生使う大切
な歯の健康診断を受けてみませんか。ぜひご利用ください!!
(生協歯科は、さいたま市歯科健康診査実施機関です。)



歯科健康診査・・・費用600円

- ※ さいたま市在住の40歳以上の男女で現在治療されていない方
- ※ 生活保護世帯に属する方、70歳以上の方などは無料となります



診療時間

曜日	午前	午後	夜間
月・火・木・金	8:30～11:30	13:00～16:30	17:30～20:30
水曜日	8:30～11:30	第5のみ午後も診療 (13:00～16:30)	
土曜日	8:30～11:30	13:00～16:30 (第5は午前の診療のみ)	

●矯正診療日・・・毎週木曜日の夜間、第2・第4土曜日

●歯科往診もおこなっております。

急患の方へ

*電話をまずお願いします。

空いている時間帯と患者さんのご都合で時間のご案内をさせていただきます。

リンス&フラッシング



歯科衛生士 加藤 理香

5月15日から、生協歯科でも薬用デンタルリンス（液体歯磨き）の販売を開始しました。



よく患者さんに『うがい薬は効果があるのですか？』と質問されたり、歯ブラシ指導の際に『うがい薬を使用しています』というお話を聞きます。そんな時今まで歯科衛生士からは『歯ブラシができていなければ、効果は普通のイソジンなどの消毒に近いですね』と話していました。

実際のところ、むし歯や歯周病の原因となる歯垢 = プラーク（プラークとは、細菌の塊バイオフィルムで、歯の表面や歯と歯肉の隙間に付着したものです）は通常のうがい薬では落とせないからです。



今回生協歯科で販売を始めた薬用デンタルリンス（液体歯磨き）は I PMP（イソプロピルメチルフェノール）という薬用成分が口の中の隙間や奥までいき渡り、バイオフィルムの中まで浸透・殺菌してくれます。さらにイプシロン-アミノカプロン酸という成分が歯肉の炎症を抑えてくれます。

薬用デンタルリンスは液体歯磨きとなっており、今お使いいただいている歯磨き剤の代わりの他、うがい薬としてもお使いいただけます。

＜ご使用方法＞

①デンタルリンスを口に含んで、約20秒ほどすすぎます。



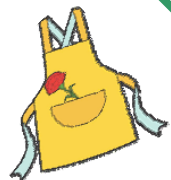
②その後、（何もつけていない）やわらかめの毛の歯ブラシで、軽く小刻みに磨きます。



詳しくは歯科医師・歯科衛生士に遠慮なくお尋ねください。

ボランティア真珠の会

毎月第2土曜日9時30分から『ボランティア』をしております。植木のお手入れ・草取り・本棚の整理・治療に使うエプロンや滅菌袋切りなど、どなたでもできる作業です。ぜひお手伝いください!!



次回 6月11日（土）9：30～

生協歯科1階会議室 集合

内容：草取り、ゴーヤのお手入れ、名札づくり など

『虹の箱』から

= 生協歯科 事業所利用委員会 =



4月は2件でした。いつもありがとうございます!!

■設備に不自由がなく、安心して利用することができます。これからもがんばってください。

→ご感想ありがとうございます。

これからも患者さん一人一人が満足いただけるよう、診療のみならず、設備もその都度改善していきたいと思います。

■昨年の11月頃から受診しています。治療や接遇には満足しています。

しかし診療室の中に、手荷物や外套など置く場所がありません。あるのは丸椅子1個です。その上に荷物など置きましたが床に落ちてしまいました。

その日の治療後に医師にそのことを話しました。その後も衛生士さんにも話しましたが、改善されません。①荷物を置く場所 ②衣類をかける場所 など検討してください。

追伸、ご意見箱の用紙がずっとなかったです。

→ご意見・ご要望ありがとうございます。

今までは診療室入ってすぐ左側の壁に、上着や荷物を掛けられるフックを取り付けていたのですが、ご指摘をいただき、そのフックにハンガーを設置しました。ぜひご利用ください。

丸椅子は荷物置き場用以外にも、一緒に来られたご家族がお座りになったりできるようにと設置いたしましたが、現在丸椅子の他に、診療室が手狭にならない程度の荷物置き場を検討しております。

虹の箱の用紙がなくご不便をおかけし、大変申し訳ありませんでした。ぜひお気兼ねなくスタッフにお声かけください。

組合員活動だより

東日本大震災被害者家族のお話

浦和南支部：小宮悦子

浦和在住のかたから震災に遭われたご家族のお話をお聞きしました。

《父》3月11日（金）、大島（気仙沼大島）に住む父はつき添いの姉と人工透析の通院中、気仙沼の病院で大震災に遭いました。父を含む患者70名位が震災2～3日後、松島自衛機で北海道の病院24カ所に振り分け搬送されました。

《姉》仙台に住んでいた姉はそのまま気仙沼の避難所に避難、数日間はプール水をろ過した水とビスケット5枚が一日に支給されるだけの食事でした。その後ようやく電話が通じた友人に仙台の自宅まで送ってもらいましたが、震災による被害でとても住めなかったそうです。姉はその友人宅にお世話になっています。

《母》大島には83歳の母が一人取り残されました。幸い父母が住む家は高台にあったため、津波による被害や倒壊もなくすみましたが、島に物品を運ぶフェリーが停止し、食料等が届かないなか、家にある備蓄食料で命をつなぎました。

島の電気は1ヶ月後に復帰、水は1ヶ月半後、フェリーは5/1（月）に運航が再開されました。

母は疲労心労のせいか肺炎になり、肺に水が溜まり、5/12（木）仙台の病院で手術をしました。住んでいた土地を離れ、知らない土地での闘病生活に、離れ離れになってしまった家族も心配でいっぱいです。

震災後の復興もいづらか動きだしましたが、家を失ったかた、職を失ったかた、家族を失った方々の見通しはいまだたっていません。

震災で亡くなった多くの方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。国民一人一人が長く続く支援を忘れず、ともに力を合わせましょう!!

